

わくわく地域連携教育だより

下関市教育委員会

第11号

令和7年2月17日

第3回地域連携教育自主学習会

1月24日（金）18時から19時半まで、教育センターで上記の自主学習会（オンラインを含む）を開催しました。これは、地域連携教育を「もっと学びたい！知りたい！」という思いを受けて発足した会です。今回の自主学習会について紹介します。



事例発表 「山の田中学校区における地域連携教育の実践について
～子どもの安心を育む地域の関わりをどう創る？～」（20分）
（下関市立山の田中学校 地域学校協働活動推進員 井上幸子氏）

情報交換会
（60分）
高校生も参加



→子供たちへの愛がひしひしと伝わる以下のお話をされました。子供たちとのエピソードには、思わず涙される方もいらっしゃいました。井上さん、ありがとうございました。

- ① 山の田中学校区 「地域みんなで子育て・子育て支援」
- ② 子どもの安心を育む～大人の意識の共有と体制づくり（放課後子ども教室の実践から）
- ③ 30年間の取組を通して出会った子どもたちが教えてくれたこと
- ④ 子どもたちとの波乱万丈の心温まるエピソード

下関市地域連携教育推進会議

今年度の地域連携教育をふり返り、来年度の方向性を話し合う推進会議を実施しました。来年度も引き続き、「参加とともに参画」を通して、子供の自己有用感を高めることを目的として取り組んでいきます。地域連携教育の充実に向けて以下の3点に力をいれていきます。

① 学校・地域連携カリキュラムの作成・活用・見直し

★ポイント・・・学校と地域が同じ方向を向くための羅針盤。いかにカリキュラムを活用するか。

② 学校の課題解決に向けた児童生徒や地域住民を交えた話し合い（熟議）

★ポイント・・・話し合い（熟議）で子供たちが地域の一員としての「当事者」になるよう留意。

③ 地域学校協働活動推進員のコーディネートによる多様な活動の推進

★ポイント・・・学校と地域をつなぐ重要な役割を担う推進員が活躍できる体制づくり。

「わくわく地域連携教育だより」は、生涯学習課HPにもアップしています。

ご意見・ご感想がある方は、以下のメールへお送りください。

shinnai.toshimasa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

